学校だより第１０号　　令和６年１月３１日

新宿区立戸塚第三小学校
校長　立野 文雄

ながれ

98th

明確な目標をもち、それに向かい努力すること

副校長　片柳　旭

先日は学校公開に大勢の保護者の皆様に来校いただき、誠にありがとうございました。２学期の公開時より、さらに成長した児童の姿をご覧いただけたのではないかと思います。アンケート用紙のご提出もありがとうございました。

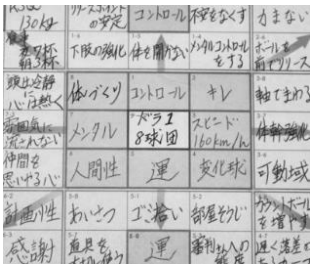
さて、ニュース等でご存知の方も多いと思いますが、アメリカ大リーグの大谷翔平選手が日本の全小学校にプレゼントしてくれたグローブが、戸三小にも届きました。今週の全校朝会で紹介した後、クラスごとに回して、子供たちは実際に触ったり、手にはめたりすることにしています。大谷選手からのメッセージ「次の世代に夢を与え、勇気づけるためのシンボルとなることを望んでいます」とあるように、戸三小の子供たちに夢を与えるものとなってほしいと思っています。

全校朝会では大谷選手について次のような話もしました。

・アメリカの大リーグで活躍中の大谷選手が、試合中グラウンドに落ちているゴミを拾うのは「ゴミは人が落とした〇〇だから」と考えていること。

・少年野球の時代から、だれもやったことがないことをやってみたいと思っていた大谷選手は、何かをしてうまくいかなかったときに「〇〇と思わないことが一番大事。〇〇と思ったらそれで終わりになってしまうから」と思っていること。

さて〇〇に入る言葉は何だと思いますか。是非お子さんに聞いてみてください。※答えは一番下にあります。



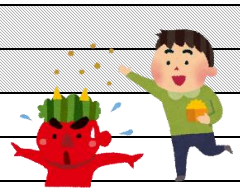
２年ほど前、大谷選手がエンゼルスで大活躍していたとき、私は大谷選手が花巻東高校時代に作成した「目標達成シート」（マンダラチャート）を見てとても驚きました。そのシートには将来叶えたい自分の姿、目標が具体的に書かれていて、その目標を達成するための要素がその周りにたくさん書いてありました。その中には先ほどの「ゴミ拾い」のことも書いてありました。高校時代から大リーガーとなった今でも実践していることに、私はとても感動しました。

この目標達成シートを書いて努力すれば、誰もが大谷選手のような成功者になれるわけではありません。しかし、努力し続けることで知らず知らずに自分を高めていくことはできると思います。明確な目標を立て、そこに向かって努力することの大切さを改めて教えてもらえたような気がしました。

※「人が落とした運だから」「無理と思わない」

２月の行事予定

1	木	
2	金	読書週間始　まなび授業参観
3	土	
4	日	
5	月	委員会
6	火	避難訓練
7	水	
8	木	安全マップ作り資料集め（3）
9	金	読書週間終　安全指導　昔遊び（1）
10	土	
11	日	建国記念日
12	月	振替休業日
13	火	東京グローバルゲートウェイ体験プログラム（6） 親子レク（4）
14	水	ユニセフ集会　地区別班活動
15	木	校内長なわ大会　モンゴル文化体験（2） 薬物乱用防止教室（6）
16	金	
17	土	
18	日	
19	月	クラブ
20	火	プラネタリウム（4）　歴史博物館出前授業（3）
21	水	親子レク（5）
22	木	神田川FC（4）
23	金	天皇誕生日
24	土	
25	日	
26	月	道徳週間始　クラブ終
27	火	保護者会（1～3）　親子レク（1）　戸三小漢字検定②
28	水	保健給食集会　保護者会（4～6）
29	木	6年生を送る会



＜栄養士の退職のお知らせ＞

本校の飯塚栄養士が、家庭の事情により１月末日で退職することになりました。給食（アレルギー対応）につきましては、区内栄養士と教育委員会と連携しながら通常どおり提供いたします。

冬の体力づくり

体育的行事担当

冷たい風が吹く中でも、休み時間になるとたくさんの子供たちが校庭に出てきて元気に走り回っています。学年を越えて元気いっぱいに仲良く遊ぶ、にぎやかな戸三小の休み時間。２月には校内長縄大会があることもあり、長縄遊びの場では、一緒に遊びながらコツを伝えてくれる頼もしい上学年の姿が見られます。

４年　学年の窓

４年担任

４年生は１年間、神田川に親しみ、学ぶ活動である「神田川ファンクラブ」に取り組みました。その中で、水質や生き物、生活排水をきれいにして川に流すしくみなど神田川について多くのことを学びました。

先日の学校公開では、神田川ファンクラブで学んだことから、各々が以下のようなテーマを決め、課題についての現状や対策、自分たちにできることなどを調べ、まとめ、発表を行いました。

【テーマ】
- ごみのポイ捨て
- 外来種
- 地球温暖化
- 食品ロス
- 海のごみ
- マイクロプラスチック
- 下水道管
- 染め物

２月からは、活動のまとめとしてエコ・アクションに取り組みます。こうした学習を通して、身の回りの環境に意識を向けるとともに、一人一人ができることを考える機会としてほしいと思います。

１年　学年の窓

１年担任

生活科の「じぶんでできるよ」の学習の中で、自宅で自分がしていること、家の人がしていることを思い出しました。それをもとに、自分でできることを考え、積極的に家の手伝いに取り組みました。主に冬休みに様々な手伝いにチャレンジし、感想をまとめました。

【気付いたこと・考えたこと】
- お家の人がこんなに大変なことをやっていたんだと思った。
- 自分がお手伝いをすると、お家の人が笑顔になる。だから、自分も頑張ってお手伝いする。
- お家の仕事はたくさんあると気が付いた。
- これからもお手伝いをしていきたい。

これからも家族の一員として、自分にできることを進んで取り組んでいけるといいと思います。

また、次の学習では「昔から伝わる遊び」で伝統遊びを行います。けん玉、コマ、かるた、お手玉等いろいろな遊びを楽しみます。地域の方とも一緒に楽しみながら、日本のよさを実感していきたいです。

読書週間

図書主任

本校では年３回、読書週間を設定しており、朝読書等の取り組みを行っております。

６月には体育館で読書集会を行い、スライドを使って図書委員会による読み聞かせを行いました。

１１月には異学年でペアをつくり上学年による読み聞かせを行いました。どんな本を読んだら下学年の子が喜んでくれるか考えて本を選び、読み方を工夫して取り組んでいました。活動場所も校庭や体育館などいつもと違う場所で行い、下学年の子も楽しそうに聞いていました。

２月は、図書委員会児童による「出張読み聞かせ」を行います。ペアで１～４年の教室に行き、読み聞かせをします。みんなの前で読むのは緊張しますが、しっかり聞いてもらえるよう、一生懸命練習しています。

一人でじっくり本を読むことも大切ですが、まずは読書を楽しむということに全校で取り組んでいきたいです。

是非、ご家庭でも読み聞かせや、本の話題などに触れていただき、読書を身近なものに感じさせていただけたらと思います。